

4 外部評価委員からのご意見

第4回外部評価委員会において、今後の外部評価委員会及び川口市行政評価に関して、外部評価委員より以下のとおりご意見をいただきました。

<外部評価委員からの主なご意見>

- 1つ1つの事業を単に評価しても、行政が問題にどのように向き合うかという視点がなければ、問題解決にはならない。市の在り方や地域社会に対する行政の役割等、議会にて議論することが本来の筋であると思う。
- 今回視察を行ったことで、現場を見ることは評価をする上で非常に大切だと感じた。今後も、テーマに沿った現地見学を行うと良いと思う。
- 評価対象事業の選定理由や懸案事項についても、明確な説明があったため、とてもスムーズに議論することができた。
- 言葉で伝えることはとても難しく、資料のみでは分かりづらいこともあるため、映像を利用した事業説明等があるとなお良いと思う。
- お互いに問題意識を共有しながら議論を進めるという点が垣間見れたため、とても良かったと思う。市民の目から見た事業に対する評価を、事業担当課が受け止め、どう改善していくかが一番大事だと思う。
- 川口市外在住の方から情報収集するという事は、非常に意味があると思う。他の自治体を参照することや、自分の地域を相対化ができなければ、あまり変わることはできないと思う。このことを踏まえ、もう少し市外在住の外部の方を入れた委員の構成を考えてもよいのではないか。
- 評価の仕組みも整い、事業担当課とのディスカッションにおいても、対峙ではなく向き合って議論できるようになった。